

第5回 市長まちかどトーク

日 時 令和4年10月6日（木）
13:30～15:00
場 所 行橋歴史資料館
学習スペース
参加者 ゆくはし屋根のない博物館
市民学芸員の皆様
テーマ：文化行政について等



市長まちかどトーク第5回目は、「ゆくはし屋根のない博物館市民学芸員」の皆様との90分間の意見交換でした。まず参加された皆様からのご意見を頂き、その後市長がお話しました。
内容を抜粋して掲載しております。

<ゆくはし屋根のない博物館市民学芸員の皆様のご意見>

1. 御所ヶ谷、馬ヶ岳の入り口の杖が古い。木が倒れたまま放置している。
2. 博物館を作るべき。（資料館から昇格）
3. 行橋は九州の玄関口であったことを、皆さんに知ってもらいたい。
4. 子ども達が通学時等に挨拶しない。
5. 文化関係の効率化を考えて各課を点検して（縦割行政）窓口を一つに。
6. 文化行政についての考えを聞かせてほしい。

<市長のコメント>

- ・行橋を知ってもらうために、子どもたちに地域にふれる経験をしてもらえたら。街歩きや子ども探検。親子で体験できるイベントなど。
- ・子どもの挨拶について不審者などがいるので気安く挨拶しない流れがあるが、地域の方とふれあうのは大事。教育委員会と話しながら前向きに改善していきたい。
- ・縦割行政は、効率的に一まとまりに出来ないか（窓口の一元化）を考えている。